

2020年12月17日
株式会社横浜八景島
仙台うみの杜水族館

ヨシキリザメ死亡について

2020年12月15日(火)、仙台うみの杜水族館(仙台市宮城野区)で飼育展示しておりました「ヨシキリザメ」が死亡いたしました。

7月中旬より遊泳の乱れが多くみられるようになり、定期的な血液検査を実施しておりました。検査の結果、脱水症状が見られたため、脱水の要因となる胃炎や感染症を疑い、継続的に検査・治療を行ってまいりました。12月15日(火)16:30頃、継続して行っていた治療をしたのち、遊泳の乱れが確認されたため、獣医をはじめスタッフ一同、投薬などの処置を行ってまいりましたが、12月15日(火)17:00頃に残念な結果となりました。詳しい死亡原因を検証し、今後の研究・飼育展示に役立てていきたいと思っております。

この個体は、国内飼育最長記録を更新し続けたヨシキリザメとして、全国の多くのファンの皆さま、および、ご協力いただいた多くの関係者の皆さまに支えられた、仙台うみの杜水族館を代表する人気ものでした。

飼育日数は、2018年7月27日(金)から2020年12月15日(火)までの873日間で、国内最長飼育記録でした。搬入時の体長は51cm、体重345gでしたが、死亡時の体長は114cm、体重4,090gと約2年半で大きく成長がみられました。生きているときにしか見ることのできない鮮やかな青い姿を、多くの方にご覧いただけたことを嬉しく思います。

応援して下さった皆さまに心よりお礼申し上げます。

仙台うみの杜水族館では、今後も多くの方に「ヨシキリザメ」の魅力、三陸の海の魅力をお伝えできるよう挑戦を続けてまいります。